

大川研究室の紹介 <よく学び!・よく働き!・よく遊び?!>

<研究室の基本的考え方>

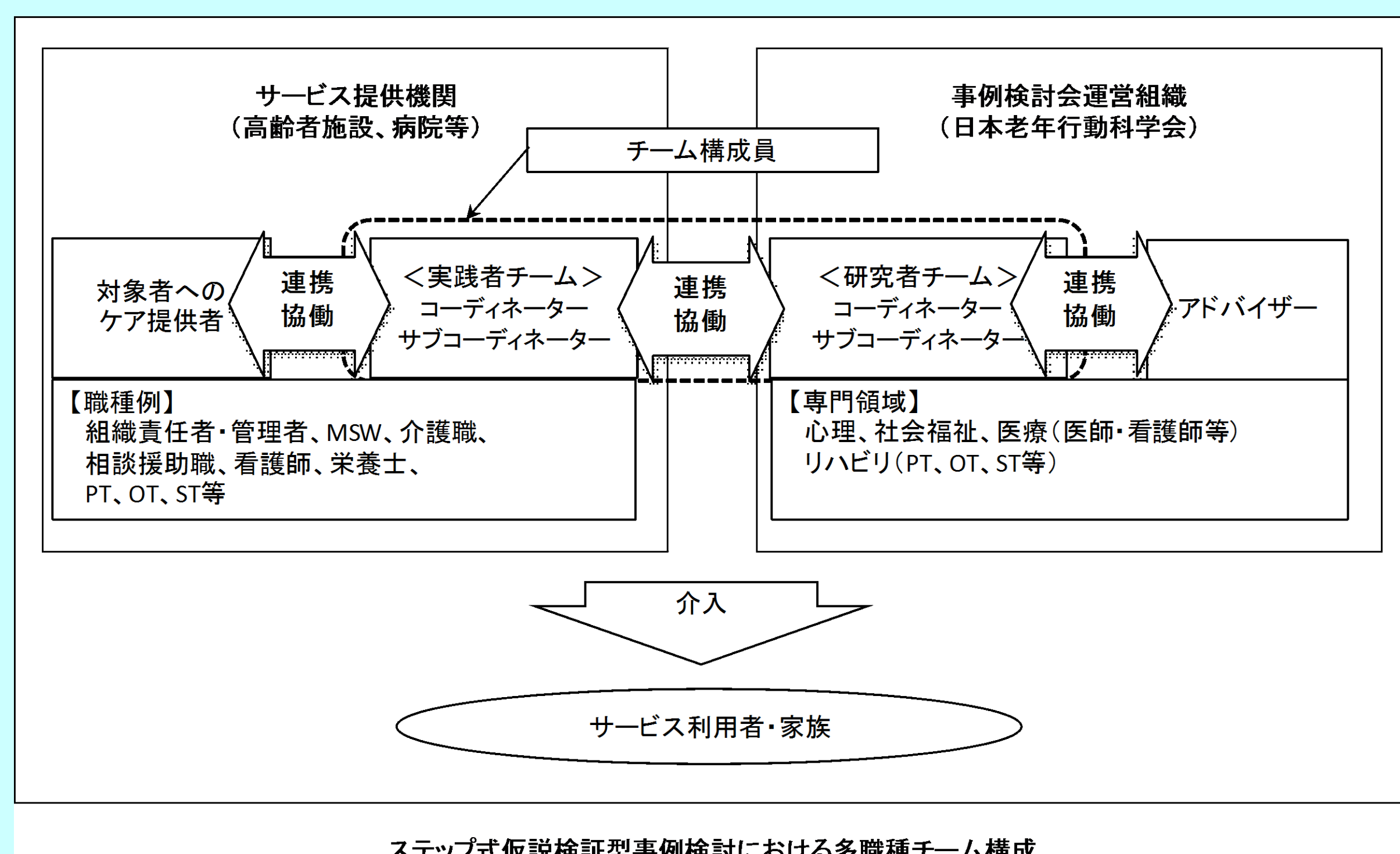
「実践の知」を「研究の知」へ!!

社会人が実践現場で培ってきた「実践の知」をしっかりと方法論の基で、「研究の知」へと昇華していく。修士論文や博士論文を仕上げるということは、まさに、そのための工程に他なりません。

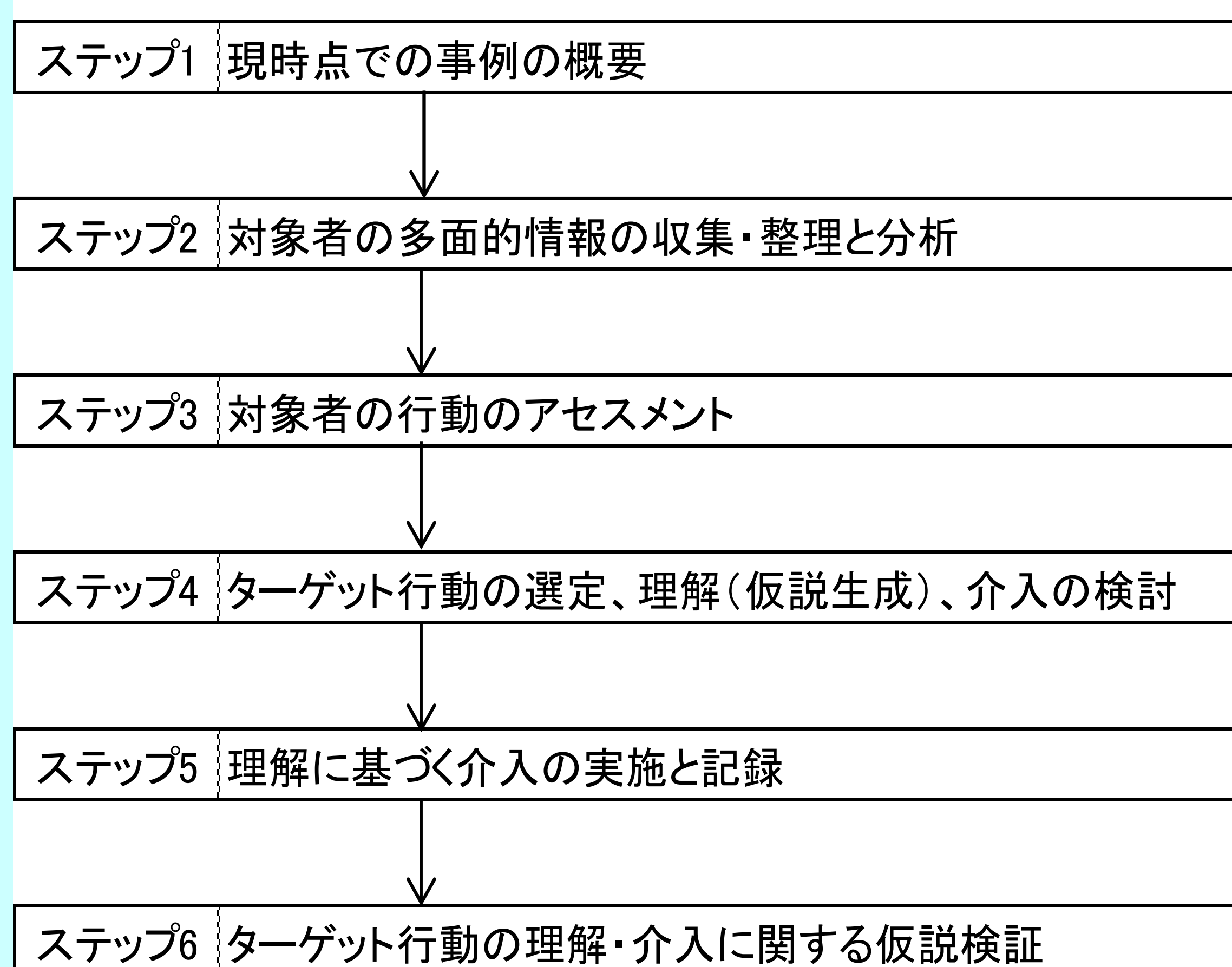
一緒にこの目標を達成してみませんか!!

<研究例：ステップ式仮説検証型事例検討>

高齢者の不適応行動の変容を目的として、医療系、看護系、福祉系、心理系等、多職種が連携協働して、対象者の行動の理解と支援を行う介入モデルの方式化を日本老年行動科学会との連携で行っています。



ステップ式仮説検証型事例検討の流れ



<最近の著書・論文他(一部抜粋)>

- ・高齢者のこころとからだ事典 2014日本老年行動科学会監修 大川一郎編集代表 中央法規
- ・エピソードでつかむ老年心理学2011 大川一郎他編集 ミネルヴァ書店
- ・特別報告:東日本大震災支援特別委員会(気仙沼プロジェクト)支援報告 2013 大川一郎他 高齢者のケアと行動科学 18巻85-115
- ・高齢者の「からだ・あたま・こころ」日本老年行動科学会総監修 大川一郎監修代表 アロウィン

<ゼミ風景>

修論ゼミ
博論ゼミ
投稿論文ゼミ
個別指導等、
適宜
行っています。



<専門領域>

生涯発達心理学、老年心理学、老年臨床心理学、心理アセスメント

<研究テーマ>

高齢者の心理にかかわる実証的・実践的な研究

- ・ケアを必要とする高齢者への援助
→ 多職種・連携協働に基づく
ステップ式仮説検証型事例検討方式の開発
- ・加齢に伴う知的能力の変化に関する研究
- ・知的能力維持にかかわる音読・計算活動、コミュニケーションの影響
アセスメントにかかわる研究

<研究室の修士論文・博士論文のタイトル(一部抜粋)>

- ・消費者被害に遭う高齢者の心理的要因とその支援について—相談しない傾向の検証—
- ・成年被後見人の傍系親族における代理決定等の行動を規定する要因の検討
- ・銀行合併が従業員に与える心理的影響について
- ・保育者のストレスが職務に対する精神状態に及ぼす影響—保育者の内的要因を媒介変数として—
- ・母親への怒りがゆるしへと変化するプロセスに関する検討—アルコール依存症の家族を対象として—
- ・勤労者の仕事態度がワーカホリックに及ぼす影響についての検討
- ・日本人高齢者におけるサクセスフル・エイジングの構造と機能に関する検討
- ・ケアを要する高齢者の不適応行動に対する応用行動分析学的介入
- ・がん医療における心理臨床家のコンサルテーション・リエゾン活動に関する研究
- ・在宅高齢者における長期の「音読・計算活動」がもたらす変化についての検討
- ・喉頭摘出者の適応を促進する心理的支援の検討 他

<研究室の歓送迎会・懇親会>

